

開講年度：2026

開講年度：2020

科目名	基礎医学実験	題目（副題）	
担当教員、教員連絡先内線	森 政之 他		
学年、講義期間、曜日・時限	3 年 後期（随時） 月曜・1時限 月曜・2時限 月曜・3時限 月曜・4時限 月曜・5時限 月曜・6時限 火曜・1時限 火曜・2時限 火曜・3時限 火曜・4時限 火曜・5時限 火曜・6時限 水曜・1時限 水曜・2時限 水曜・3時限 水曜・4時限 水曜・5時限 水曜・6時限 木曜・1時限 木曜・2時限 木曜・3時限 木曜・4時限 木曜・5時限 木曜・6時限 金曜・1時限 金曜・2時限 金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限 金曜・6時限		
単位数、講義室	2 単位	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業達成目標
	M21カリ・医学		
	常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学修課題を開拓し探求することができる。		研究が、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを認識し、兼研究及びその結果を論理的に解析することを通じ、基礎医学と臨床医学の関係性を理解する。
	M26カリ・医学, M25カリ・医学, M24カリ・医学, M23カリ・医学, M22カリ・医学		
	基礎的・専門的な知識と技能 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。		研究が、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを認識し、兼研究及びその結果を論理的に解析することを通じ、基礎医学と臨床医学の関係性を理解する。
臨床実習前の到達目標	科学的探求力 常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学修課題を開拓し探求することができる。		
	研究が、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを認識し、兼研究及びその結果を論理的に解析することを通じ、基礎医学と臨床医学の関係性を理解する。		
臨床実習前の到達目標	・ 必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・ 研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 ・ 生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	実務経験のある教員による授業科目 研究演習		
授業の概要・一般目標	基礎医学実験は、evidenceに基づいた診療を行う臨床医を育てるための教育の一環として、実際の研究手技に触れるとともに、論理的な考察の重要性を認識することを主眼とする。 具体的に次のような成果を期待する。 1. 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 2. 研究手技を体験し、結果を論理的に考察する。 3. 論理的な考察をとおして、基礎医学と臨床医学の関係性を認識する。 4. "答え"のない問題に取り組む姿勢とその意欲を養う。 5. 将来の研究者としての可能性を考える機会を作る。		
テキスト、教材、参考書			
履修上の注意	特別な理由のない限り、すべての授業に出席することを求める。		
授業の形式、視聴覚機器等の活用	本授業は実習がメインとなる。 授業スケジュールの詳細については1か月前を目途に別途手引きを配布するので、手引きを参考にすること。		
成績評価の方法	レポートや実験への取り組み度合を基に評価を行う。 レポートの提出期限及び内容は各実習ごとに改めて周知します。		
成績評価の基準	90 - 100点：秀 80 - 89点：優 70 - 79点：良 60 - 69点：可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。		
事前事後学習の内容	授業開始1か月前を目途に別途手引きを公開するので、手引きを参考に事前学習・事後学習を行うこと。 本授業の単位修得には8時間分の時間外学習が必要です。 【授業アンケート】 最終実習修了後に授業のふりかえりを実施します。		
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問、相談への対応）	授業全般に関する質問、相談は受け付ける。アドレスは、「masamori@shinshu-u.ac.jp」（森政之） 各回の授業内容に関する質問は、授業中、授業後に担当教員に尋ねること。		